電電値上げ法案、参院へ

衆院本会議、賛成多数で可決 11月中にも実施

電報・電話料金値上げを内容とする公衆電気通信法の一部を改正する法律案は、十二日の衆議院本会議において一時二十三分、自民党の賛成多数によって可決、参議院に送付された。これにより、同値上げ法案は、十三日の参院本会議における趣旨説明を経て、逓信委員会での審議を待つことになったが、参議院は保革伯仲の状態にあることから野党側の慎重審議戦術がある程度認められる見通しにあり、相当の難航が予想されるが、結果的には、成立する見通しが強く、値上げ実施時期も十一月中になるものとみられている。電電公社では、値上げ実施が一カ月遅れることによって六百五十億円の予算上の収入不足をきたしており、これに伴う関連企業は機械・機材、工事などの発注削減によって経営が圧迫されていることから、関係者は同法案の衆議院通過に胸をなでおろしている。

[illegible]電話基本料を二倍に、通話度数料を七円から十円に、電話設備料五万円を八万円に、公衆電話料金を加入電話と同程度に引き上げるという電報・電話料金の値上げは、さる二月四日第七十七通常国会に上程され、三月五日本会議で趣旨説明が行われたあと、逓信委員会に付託され審議されたが、ロッキード事件の発生によって実質審議は行われず、通常国会の会期末ギリギリになってやっと審議入りとなったものの、時間切れで継続審査となった。継続審査中、参考人の意見聴取が行われた。今臨時国会では、公労委のペア勧告の実施をめぐっての取り引きがあったが、六日、七日の逓信委員会で精力的な審議が行われ実施時期を「公布の翌日」とする修正を行い賛成多数で可決した。

十二日の衆院本会議では、伊藤宗一郎逓信委員長が、審議の経過について説明を行った。

これに対して、社会党の古川喜一氏が野党を代表する形で反対の討論を行った。古川氏は、同党が出した電気通信事業のあり方に関する抜本方針に基づいて、公衆法改正案の問題点を指摘した。問題点として指摘したのは、①値上げの理由が薄弱で納得できない②長期計画の見直しを行い、既成長期経済に合わせることによってある程度の赤字は抑えられる③料金体系の合理化、制度が盛り込まれていない。一定度数までを現行料金に据え置くべきだ④経営委員会を発展的に解消し、経営監視委員会、電話利用者委員会を設置すべきだ⑤減価償却のあり方を抜本的に見直すべきだ—などである。

このあと、伊藤逓信委員長の報告どおり、自民党の賛成多数によって公衆法一部改正案を可決、参議院に送付した。

衆議院での審議は社会党の「審議に応ずる」との姿勢によって異例のスピード審議となったが、参議院は保革伯仲であることから形式的には野党側の"慎重審議"の建て前が貫かれる可能性もあることから、衆議院のようなスピード審議は無理とみられ、十月下旬ないし会期末ギリギリに成立ということになるものとみられている。

こうしたことから、値上げの実施時期は、十二月一日を中心に早ければ十一月中にも実施される公算が強まってきている。

電電公社および関連業者は、衆議院を通過したことによって、安ど感をいだいているが、今後は、これまで削減されてきた資材、工事などの追加発注に関心が集中してきそうだ。

趣旨説明は別々に 参院・三野党 慎重審議要求

参院の公明、共産、民社三野党は十二日午前、国会対策委員会などを開き、同日午後に衆院から送付されてくる国鉄、電電の値上げ二法案審議に臨む態度を協議した。

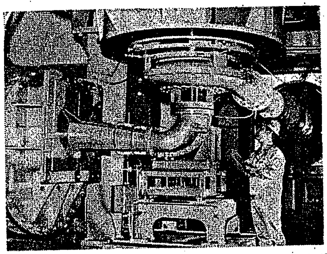
この結果、三野党とも自民党がねらう十三日の参院本会議における二法案の一括趣旨説明に、「慎重審議」の観点から反対、趣旨説明を別々の本会議で行うことを要求する方針を決めた。

公明党はこの方針を十二日朝の国対委で決め、具体的には電電値上げ法案を十三日の本会議で、国鉄値上げ法案は十五日以降の本会議でそれぞれ行うべきだとしている。

水力試験所を完成

模型水車試験装置を完備 高精度の汎用設備

東芝、鶴見工場内に


鶴見工場内に完成した模型水車試験装置

東芝は十二日、鶴見工場内に新鋭模型水車試験装置を備えた水力試験所を完成したと発表した。

この水力試験所は、最新の計測技術、大容量の動力計、送水ポンプなどを備えたもので、世界的に増加しつつある高落差大容量ポンプ水車だけでなく、低落差大容量水車の開発にも利用できる高精度の汎用試験設備として威力を発揮するであろうとしている。

模型水車試験装置の特徴は、動力計は六百KW、最大トルク容量三百五十㌔グラ/㍍の容量を持ち、サイリスター制御による高精度回転制御を行っている。この動力計は電気動力計で、固定子支持には高圧静圧軸受けを、固定子への主回路接続部には水銀接点を採用し固定子支持物の摩擦や外部からの拘束力を減らしたため、高精度のトルク測定ができる。

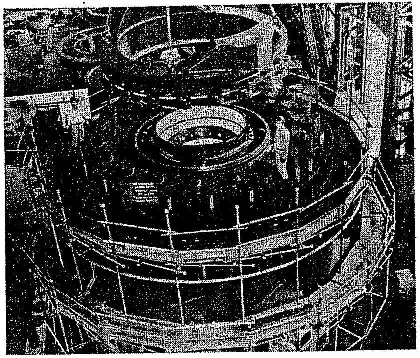
主送水ポンプには一千KWの大容量ポンプを設置しており、このポンプはサイリスター制御による回転速度の無段階制御装置を備え、試験落差に対して、模型入口での圧力脈動の少ない最適の試験条件を得ることができる。このため、従来のように試験落差の調節をバルブで行う装置に比べると模型水車の運転状態が安定し、より精度の高い測定が可能になった。また、水圧脈動試験などでも、外乱の少ない信頼度の高い試験ができる。また安定した試験状態を得るため、上水槽、吸出水槽などの容量を大きくし、また主管路の管径を大きくして流速を抑えた。

流量測定には、高精度の重量法流量測定装置を採用した。重量法計量タンクは、世界でも最大級の三十立方㍍の容量を持っており、な一立方㍍/秒の大流量も誤差〇・一%以下の精度で測定できる。このほか、圧力測定には自動圧力天秤、トルク測定には自動天秤を採用している。

これらの測定器はすべてコンピューター（ミニコンピューターTOSBAC—四〇C）により制御され測定結果、計算結果は一秒ごとにカラーディスプレー上に表示される。また各測定器の校正データも自動的にコンピューターに入力され、校正の大幅な自動化・省力化を図っている。

試験装置の概要は次の通り。

▽試験落差＝八十㍍～百五十㍍
▽動力計＝①容量六百KW②最大トルク容量三百五十㌔グラム/㍍③速度制御＝サイリスター制御
▽主送水ポンプ＝①容量千KW②速度制御＝サイリスターによる無段階速度制御
▽流量測定＝①タンク容量三十立方㍍②補助流量測定＝電磁流量計
▽模型寸法＝ランナー出口径三百㍉～三百五十㍉


公開された世界最高落差のポンプ水車

世界最高落差のポンプ水車

東芝 ユーゴスラビア向けに完成

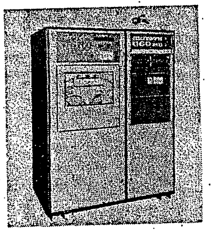
東芝は十二日、ユーゴスラビア向けの世界最高落差のポンプ水車が完成したため、同社鶴見工場で公開した。このポンプ水車は昭和四十九年秋、ユーゴのバヒナ・バシュタ水力発電会社より受注した揚水発電設備二台のうちの一台のポンプ水車である。

このバヒナ・バシュタ発電所は最高揚程六百二十一・三㍍（揚水運転時）最高落差六百・三㍍（発電時）の規模で、現在の世界最高落差をもつ九州電力・大平発電所（最高落差五百四十五㍍）をはるかにしのぐものである。

同ポンプ水車は、同社の高落差・大容量揚水発電機器についての豊富な経験と高い技術力が評価され、受注したものだが、これに直結される高速・大容量の三十一・五万KVA発電電動機もきたる十一月の完成をめざして鶴見工場で製作中である。今回完成したポンプ水車の定格は次の通り。

▽最高有効落差＝六百・三㍍▽最高揚程＝六百二十一・三㍍▽最大出力＝三十一・五万KW▽最大揚水量＝毎秒五十・八立方㍍▽最大軸入力＝三十一KW▽回転速度＝毎分四百二十八・六。

新機能追加のNC装置 沖「オキパスMII」開発


新機能を加えたNC装置「オキパスMII」

沖電気はこのほど、マイクロプロセッサー方式のNC装置「オキパス—六六〇MII」（マークII）を開発、販売を開始した。また、これと同時に、第一ロット約六十セットの納入も始めた。

今回開発したマークIIは、一昨年開発したオキパス—六六〇に大幅な機能追加を行い、グレード・アップを図ったもの。

また、納入を開始した第一ロットは、三井精機、新潟鉄工、新日本工機、日立精機、牧野フライス、大阪鉄工、理研製鋼などのマシニングセンターや、フライス盤、中ぐり盤に搭載されたもので、欧米への輸出機にも採用されている。

新機能としては、これまで、どんな方式の工具径補正でも不可能であった凹部の工具径補正でも、削り込みなしで加工でき、プログラマーは単純に形状そのものをプログラムするだけで済む「交点演算方式工具径補正」ユーザー個有の固定サイクルをNCテープで一度定義してメモリーに格納し、以後、簡単な指令で何回も呼び出して実行出来、同一加工の繰り返しの多い作業に威力を発揮する「メモリーサイクル」、円弧補間と、直線補間を同時に行わせ、サイクロイド曲線、サイン、二サイン曲線などが創成でき、各種の複合カムなどの加工に威力を発揮する「直線円弧複合補間」などがあり加工上、画期的な威力を発揮するもの。

このほか、大口径ネジを加工する場合、一本の特殊フライスカッターでパラメーターを指定することによって、さまざまな径、ピッチのネジ加工の出来る「スクリューサイクル」「箱物の穴加工などに起こりがちな加工物の裏面の面取りや下側面、あるいは内側のボーリング加工などをワークの再セットをせずに加工でき、段取り時間の大幅な節約の出来る「バックボーリングサイクル」のほか、メモリー運転、テープ編集機能など、先端技術をふんだんに採用している。

冷却材喪失事故時試験

米・民間試験に合格

日立電線 原発用六百Vケーブル

日立電線は、原子力発電所用ケーブルについて米国のフランクリン研究所に火災・冷却材喪失事故時試験を依頼していたが、このほどわが国として初めてこの試験に合格したと十二日発表した。試験に合格したケーブルは、特殊ゴム系材料を絶縁とシースに用いた低圧（六百V）の制御ケーブルで、耐放射線特性はもとより、耐熱老化性（寿命四十年）、高度な難燃性などの特性をもっている。このため、同社では、今後の原子力発電所用のケーブルには、このケーブルが使用されるものと期待している。

同社では、かねて日本原子力研究所と共同研究を行うなど原子力発電所用ケーブルの開発に積極的に取り組んでいるが、米IEEE（電子電気学会）の技術基準三八三が出ると同時に日立工場に試験装置を設置し、社内実験を行ってきた。今回フランクリン研究所に依頼したのは、冷却材喪失事故（LOCA）に対する試験に合格するものであることを第三者機関で確認するため。

同研究所は原子力発電機器の安全性試験では最も権威のあるところ。技術基準三八三は、原子力発電所における安全対策上きわめて重要であるケーブルの型式試験の基準を定めたもので、通常運転時の特性試験のほかに、火災事故、冷却材喪失事故時試験についても定められている。

火災、冷却材喪失事故時試験はきわめて厳しいもので、従来の概念と異り、同一ケーブルが両事故のいずれにも耐え得ることを要求している。特に冷却材喪失時試験は、ケーブル試料を通電した状態で可能な限り模擬した要条件下、放射線、蒸気、高圧などの下において行われる。このため、社内試験で一応の合格とされていたものが不合格となるケースもあるという。

今回、合格したものは低圧の制御ケーブルが中心であり、これは難燃性と耐放射線、耐熱老化性などを同時にもつもの。

同社では、今後、受注する原子力発電所用ケーブルについては、電線価格との問題があるものの、安全性が論議されていることから、この新しいケーブルが次第に採用されていくものとみている。同時に新しい特殊ゴム系材料を使った新製品も開発していく方針である。

フランクリン研究所の試験に合格した原発用六百V制御ケーブル

生産、輸出、上積み修正

日機連、51年度見通し 輸出の伸び目立つ

日本機械工業連合会（田口連三会長）は十二日、五十一年度の機械工業「生産・輸出額および鉄鋼需要」改定見通しを発表した。それによると、生産、輸出も上方修正され、対前年度比増加率でみると生産は三・八ポイント、輸出は八・五ポイントとそれぞれ伸び幅が上積みされた。内需の回復はおくれ気味であるが、輸出の伸びが目立っているのが特徴となっている。さらに機種間の跛行性が一層顕著になってきているため、同一機種といえども内需指向と輸出指向によって伸びに差が出ている。

今回の調査は、この三月にまとめた五十一年度見通しをベースとして、その後半年間の推移と下期を中心とした景気情勢を配慮して改定したもの。調査時点は八月下旬で、見直し作業は九月に入ってから行った。

生産動向では、当初見通しの対前年度比八・七%増の二十八兆九千五百六十六億円を三・八ポイント上方修正し、同一二・五%増の三十兆八千九百五十三億円とした。

この内、一般機械は五・七ポイント増と修正幅が最も大きく、輸送機械三・九ポイント、精密機械一・七ポイント、電気機械一・四ポイントとそれぞれ上方修正されている。電気機械は修正幅が最も小さいが、ラジオ、テレビ、音響機器については八・五ポイントの上方修正となっており、家電の好調さを示している。

輸出については、当初の対前年度比一二・九%増の十兆一千二百十五億円から八・五ポイント上方修正して、同二一・四%増の十一兆三千二百三十二億円とした。生産額の修正幅を倍以上も上回るという好調さを示している。

特に電気機械が一五・八ポイント上方修正して三一・七%増という大幅増になっているのが目立っており、ここでも家電輸出の伸びの高さを示している。その他、輸送機械七・三ポイント、精密機械五・四ポイント、一般機械三・四ポイントとそれぞれ上方修正となった。

一般機械の中で、事務用機械は一〇・七ポイントと大きく上方修正されたが、これは輸出が二一・〇ポイントの大幅増となったためで、欧米向けが中心である。しかし、一般機械の中には繊維機械のように九・九ポイント下方修正されたものもあり、機種によるバラつきが目立っている。

電気機械では、家電好調をうらづけて、ラジオ、テレビ、音響機器が二七・四ポイントという大幅な上方修正になっている。

本格派のシステムコンポを発表 シャープ、留守録音できるカセットデッキも

シャープは十二日、本格派のシステムコンポーネント（ライブ五）と留守録音のできるカセットデッキ（RT—一五五〇B）を十六日から発売すると発表した。いずれも音質の追求と個性をプラスしているので同社はニューライフ商品に指定している。

システムコンポは欧州で高い評価を受けたFMエアチェック機能を採用したチューナーにハウリングに強いミカゲ石ボードのDD方式プレーヤー、新開発のパッシング型三ウエースピーカーとシャープ技術の代表を結集した自信作。

故梶井氏葬儀は30日

九日死去した故梶井剛氏の葬儀は十月三十日午後一時から、告別式は同午後二時から東京・中央区三—一五、築地本願寺で行われる。喪主は長男健一氏（名鉄副社長）、葬儀委員長は米沢滋・電電公社総裁。

南船北馬

▽…オーディオ業界は、二十二日から始まるオーディオ・フェアに向けて、新製品の発表が相次いでいるが、ソニーも高級コンポーネント「7シリーズ」を登場させた。

▽…中島平太郎常務は「三十年前の創業精神に立ち返り、ユニークな商品づくりを推進して行く。その第一弾がこの"7シリーズ"で、単品コンポ市場をガッチリつかみたい」と意欲満々。

▽…各機種とも十五万円前後の上位機種だけに、販売目標は当初は設定せず、ユーザーの動きを見極めたいと慎重な態度。しかし、「年内にはチューナー、アンプは二千台、スピーカーは三千台をめざしたい」と強気の構えをみせている。

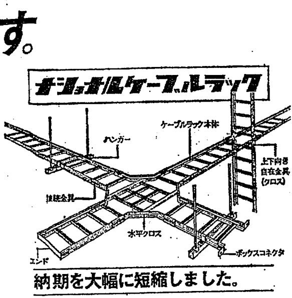
電線管ホワイト
ケーブルラック
レースウェイ

松下電工

電力・照明・通信線など
かけがえのない工場の動脈を
ナショナルの電路配管技術が
しっかりと支えます。

ナショナルのケーブルラック・レースウェイは電線管ホワイトで定評のある金属表面処理技術がそのまま生かされています。

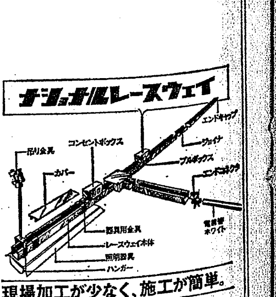
この優れた耐食性とシャープな光沢を、工場を動かす動脈ともいえる各種ケーブル・照明配線にぜひご採用ください。



納期を大幅に短縮しました。

本体・付属品をできるだけ統一し、納期の短縮をはかるとともに、工事の省力化を実現しました。

- 本体は連続溶融亜鉛めっき、錆に強い構造です。
- 色は光沢のあるホワイトです。
- 上下向き自在金具の組み合わせで、L（エルボ）・T（ティー）・十（クロス）が簡単にできます。



現場加工が少なく、施工が簡単。

凹形ダクトと付属品を組み合わせ、照明器具の取り付けと配線が同時に行えます。ビル・工場などのライン照明に幅広く使われています。

- 錆に強く、美しい光沢があります。
- 外面に突起が出ず、スマートに施工できます。
- ノックアウト付きタイプは配線・施工がラクにできます。

●カタログのご請求・お問い合わせは、〔〒571〕大阪府門真市 松下電工・電材事業部EI係 ☎(06)908-1131(代)